

第3回モノづくり現場発信のDX大会の発表募集要領

1. 発表の内容

製造業の現場主体で推進したDX（デジタル技術の活用を通じた業務改善など）に関する事例全般を募集します。主としては製造現場における困りごとに対して、デジタル技術や身近なツール、AIを活用し、改善した事例を募集します。過去に当会の改善事例発表大会などで発表いただいた事例も上記に当てはまれば対象となります。

以下の発表事例の例を参考にご発表をご検討ください。

ご不明な点や、現場に適用したDX事例だが、以下の例に該当しない場合など、**自社の発表テーマ選定に悩まれる点がございましたら、お気軽に事務局までご相談ください**

この大会で募集する発表事例の例

身近で安価なデジタルツールやAIを活用して現場の改善を図った事例

例：BIツール、ローコードツール、ラズベリーパイ、生成AI等を現場起点で活用

設備異常やチョコ停、品質不良を未然防止あるいはより早く発見・解決できるようにした事例

例：IoTによる常時監視、兆候管理、画像解析、AIを活用した異常傾向の把握

人手不足の中でも現場が活き活き働ける環境にした事例

例：ラズパイを活用した遠隔確認、省人化、省力化、生成AIを活用した問い合わせ対応や情報検索

作業のムダや待ち時間を減らした事例

例：ボトルネックの見える化、動線改善、段取り改善、データ活用によるロス削減

点検・保全をやりやすくした・自動化して無くした事例

例：自主保全支援、予備品のQR管理、簡便な兆候管理、安価なツールによる予兆把握

作業の標準化や技能伝承を進めた事例

例：動画による標準化・教育、作業手順の見える化、ベテラン知見の整理・共有

紙や手作業が多く、手間がかかっていた検査や点検業務を自動化やデジタル化し、業務をラクにした事例

例：紙帳票のデジタル化、記録の自動化、アプリ開発による報告書作成の効率化

2. 発表申込方法と募集期間

当会公式サイトの「モノづくり現場発信のDX大会」内の発表申込みよりお申し込みください。

※ご発表内容が本大会の趣旨にそぐわない場合には、内容のご調整や、場合によってはご発表を見合わせていただく可能性がございます。何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます

DX大会発表申込期間
2026年8月10日（月）～10月16日（金）

3. 開催日と会場

日 程	会 場
2027年2月17日（水）	ポートメッセなごや（愛知県名古屋市）

4. 発表について

会場に会場来て、ご発表いただきます。

発表者と、アシスタント（パソコン操作者に限り1名のみ）は、無料でご参加いただけます。

※ ご宿泊が必要な場合のホテル、交通費のご負担は貴社にてお願いします

5. 発表当日の集合時間・場所

発表者ならびにアシスタントは、各会場の「開会・あいさつ」までにお越しください。（10：00 開始予定）

※ 開場・受付時間（9：30 頃）の15分前から来場可能です。「開会・あいさつ」までの時間で、ご発表機材の確認をしていただくことができます（午後の発表の場合は、昼休憩でも対応可能です）

※ 集合時間ならびに集合場所は、別途、開催日2週間前（2027年2月上旬）頃にご案内します

6. 発表時間

1 発表につき25分（発表時間20分、感想・質疑応答など5分）

※ 発表時間帯は、別途ご案内するプログラムにてご確認ください（2027 年 1 月下旬ご案内）

7. 当日配布するテキスト(冊子)の原稿作成と提出について

参加者に、発表データ(パワーポイント)の抜粋版としてのテキスト(冊子)を配布しますので、原稿作成にご協力をお願いします。

テキスト(冊子)のデータ：A4 縦・横書き・カラー、28 ページ以内、PDF データ

- ※ 1 ページあたりの割付枚数は自由です
- ※ 用紙の余白：用紙の上部左右に 1.5 c m 程度の余白を確保してください
- ※ **詳細は、別紙 1. テキスト(冊子)の原稿見本を参照**してください

8. 当日投影する発表データの作成と提出について

大会当日に使用する機材の都合により、**発表時に使用する原則、当会で準備するノートパソコン**を使用いただきます。そのため、お手数ですが、準備と併せて事前に当日投影する発表データの提供をお願いします。

- ・発表データは、パワーポイントで作成し、1 つのデータにまとめてください（**推奨サイズは「16：9」を推奨します**）
- ・最初のスライドに「発表タイトル、会社・事業場名、発表者の所属役職・氏名」を記載してください
- ・色や枚数に制限はありませんが、文字や図表の大きさ（**文字は 24pt 以上**が望ましい）にご配慮ください
- ・テキストボックスを使用する場合は大きめにし、文字欠けのないようにしてください
- ・**使用許可の必要な資料・写真・ロゴ他は、必ず許諾を得てください（イラスト素材、キャラクター他）**
- ・作成した発表データは、必ず事前に動作確認を行ってください

9. 発表の方法

当日は、発表会場にて、当会の準備するノートパソコンで発表データをスクリーンに投影し、発表してください。

- ・会場ではプロジェクター、スクリーンを準備しております。
- ・音声出力は、**発表者の声のみ**とします。

10. 提出物と提出期限

「7. 当日配布するテキスト(冊子)の原稿作成」「8. 当日投影する発表データの作成」を、後日別途ご案内する当会指定のクラウドの共有ボックスに、提出期限までにご提出ください。

テキスト(冊子)の原稿締切 ※テキスト用の PDF	発表データ締切 ※当日発表用の PPT
2027 年 1 月 20 日（水）	2027 年 2 月 5 日（金）

11. 記念品

発表の記念として楯を贈呈します。

12. 発表者&参加者の交流会（ポスターセッション）について（予定）

全ての発表終了後、発表者と参加者みなさんの情報交流（質疑応答や意見交換）の場として「交流会」を開催します。発表者の準備負担を考慮し、参加者に当日配付のテキストを持参いただき交流する形態をとります。

発表用投影データの印刷物（A4 サイズ）の掲示については、テキスト資料を基に当会が準備します

そのほかに掲示する資料がある場合は、**発表企業にて印刷・ご持参ください。**

その他、発表者にて質疑応答の際に必要なものがございましたらご持参ください（制作したハンドブック、関連資料など）。

交流会の時間中は、質疑などへの応対※として、**発表者（関係者など）**は、**ボード付近に待機**をお願いします

- ※ 参加者は、自由に質疑や意見交換をしたい発表事例に赴きますので、その際の質疑応答、情報交換、名刺交換などのご対応をお願いします

13. その他

各種データの提出にあたり、貴社のシステム上、当会指定のクラウドの共有ボックスのリンクが開けない、使用できない場合は、データを記憶媒体（USB フラッシュメモリ）にて下記 JIPM まで送付ください。

以 上

＜問合わせ先＞ 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 モノづくり現場発信の DX 大会事務局
普及推進部 TEL 03-6865-6081 E-mail：FUKYU@jipm.or.jp
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-3 神保町 SFⅢビル 5 階

別紙 1. 当日配布するテキスト（冊子）の原稿推奨例

日付などは記載しない

用紙の上部左右に 1.5cm 程度の余白を確保してください

発表タイトル

XXX の改善

XX 株式会社
YY 工場
マネージャー
設備 花子

会社名
事業場名
発表者の所属役職・氏名

1. YY 工場の概要

oooooooooooooooooooo

テキストが、アニメーションなどで隠れてしまう場合で、文章の意味合いが不明瞭になる場合は、必要に応じて、アニメーション図形をずらすなど対応（推奨）してください

動画

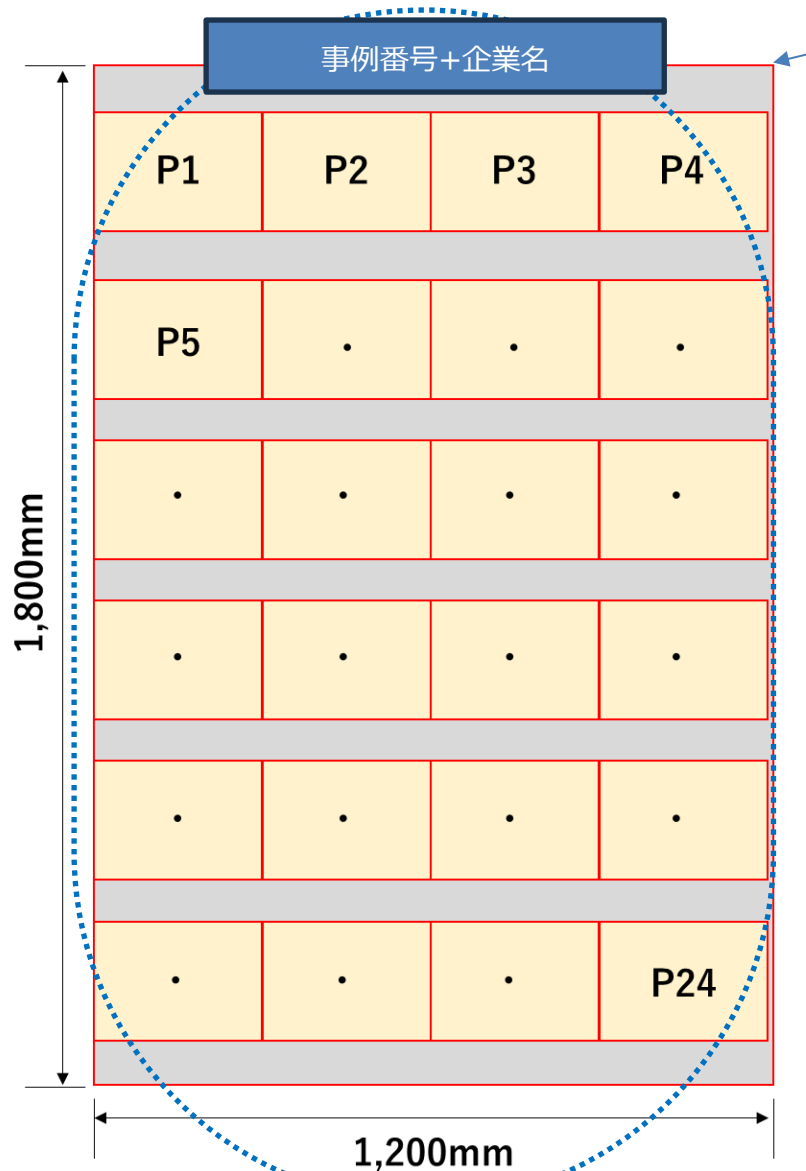
動画などの影響でシートとして分かりにくくなる箇所は説明を入れる

ページ番号は記載しない

A4 縦・横書き・カラー、28 ページ以内 で作成ください

※1 ページあたりの割付枚数は自由です。あくまで上記は見やすさなどの推奨例となります。

別紙 2. ボードへの発表スライド掲示（貼付）例



企業名の掲示物とテキスト資料（A4）は、当会で準備し、張り出します。

※縦 1,800mm×横 1,200mm パネルでの掲示例です。実際のサイズは異なる場合がございます



※過去に実施した改善事例発表大会で実施した交流会の様子